

◆俳句

生きもの

尺取虫袖の寸法計りつつ

蠅取蜘蛛ひつくり返り死んだ振り

老犬の体調崩す酷暑かな

上水の小道を塞ぐ青大将

かまきりがクルマに轆かれ絵を描いた

小笠原啓峰

(高5回)

●おがさわら・ひろみね

昭和10年東京都杉並区生まれ。飯田市三穂村(現・伊豆木)出身。京都大学工学部卒業後、伊藤忠商事(株)入社、主として家電製品、自動車、同部品等の輸出促進。アメリカ駐在12年間、世界各国(約65か国)訪問、商圏拡大に従事。趣味は俳句、トレッキング(ネパール訪問2回)、スキー、テニス等。

青梅初夏

若鮎の乙女の裸像風薫る

切岸を楽譜となりて揚羽翔ぶ

竜天に青く澱める釜の淵

豪農の濡れ縁余す三尺寝

夏炬燃ゆ松竹梅の自在鍵

林 璋

(高5回)

●はやし・あきら

高森町市田出身。東京大学理学部卒業。三井物産(非鉄金属)社友。平成18年よりNHK俳句、NHK短歌に投稿を始める。俳句、短歌共に、特選や年間大賞を受賞。現在、杉並区角川庭園での句会「幻戯会」に参加。師は鎌田俊氏(「河」副主宰)。5月8日、奥多摩支部青梅吟行に参加して、掲載句を詠んだ。

望郷

夏来る望郷をメルマガに載せ

紫陽花の半分青く今を咲く

友が撮るササユリ僅か生き残る

梔子クチナシや碁盤の脚に四つ咲く

熊よけの鈴響く夏の大平宿おおだいら

大原直

(高21回)

●おおはら・ただし

豊丘村出身。私は同窓生にメルマガを送っているが、飯田からは四季折々の風景や花などの写真と情報が届く。私の俳句の原点は故郷にある。昨年、今年と四谷で「井月忌」の句会に参加。俳句を学んでいる。最近では、趣味の囲碁・将棋より俳句が面白くなってきている。